



2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社ビューティカダンホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舛田正一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 三島まりこ (TEL) 096-370-0004
 定時株主総会開催予定日 2024年9月25日 配当支払開始予定日 2024年9月26日
 有価証券報告書提出予定日 2024年9月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の連結業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	6,982	8.9	84	△31.8	99	△26.3	28	△67.9
2023年6月期	6,413	9.5	124	20.0	135	5.2	88	2.9

(注) 包括利益 2024年6月期 28百万円(△67.8%) 2023年6月期 90百万円(△2.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	7.04	—	5.2	3.8	1.2
2023年6月期	21.93	—	17.2	5.5	1.9

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	2,717	544	20.0	134.10
2023年6月期	2,462	545	22.2	134.70

(参考) 自己資本 2024年6月期 544百万円 2023年6月期 545百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	98	△72	90	1,071
2023年6月期	105	△31	△70	954

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	—	0.00	—	9.00	9.00	36	41.0	7.1
2024年6月期	—	0.00	—	4.00	4.00	16	61.1	3.2
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00		52.2	

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	7,600	8.8	110	29.6	110	10.4	70	145.3

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) — 、除外 一社 (社名) —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2024年6月期	5,976,000株	2023年6月期	5,076,000株
2024年6月期	1,018,652株	2023年6月期	1,026,552株
2024年6月期	4,054,887株	2023年6月期	4,049,448株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年6月期の個別業績 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	1,685	△35.7	31	—	70	86.4	68	103.1
2023年6月期	2,621	2.4	△98	—	37	△44.2	33	△36.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年6月期	16.91		—					
2023年6月期	8.33		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年6月期	1,385		431		31.1	106.28		
2023年6月期	1,283		385		30.0	95.09		

(参考) 自己資本 2024年6月期 431百万円 2023年6月期 385百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	17
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済活動に正常化にともない、雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方でロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢をめぐる地政学リスクによるエネルギー価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇等など景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは最終年度を迎えた中期経営計画に掲げる「既存事業の収益性改善と新規事業の創出により持続的な成長を実現し、企業価値向上・株価上昇へつなげる」ことを基本方針として「コア事業での売上拡大」「事業基盤強化」「新サービス開始・新規事業の拡大」「企業価値向上」を重点戦略とし取り組んでまいりました。

これと合わせ、更なる業容拡大と上述の事業基盤強化を図るべく、グループ各社の連携・経営責任の明確化・次世代経営人材の育成等目的とした持株会社化の検討・準備を進め、2024年1月1日付での移行を実施いたしました。

この結果、各事業ともに引き続きコロナ禍から総じて回復基調にあったことや生花卸売事業において販売単価が上昇したこと等から、当連結会計年度における当社グループの売上高は、6,982,903千円(前年同期比 8.9%増)、ホールディングス化に伴う費用を計上したこと等により営業利益は87,550千円(前年同期比31.8%減)、経常利益は99,619千円(前年同期比26.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は28,541千円(前年同期比67.9%減)となりました。

なお、当連結会計年度末の現金及び預金の残高は1,071,375千円であり、当面の間の運転資金が十分に賄える状況にあると考えております。また、当連結会計年度末の自己資本残高は544,109千円であるため、自己資本が著しく脆弱であるという状況にはありません。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、3,864,156千円(前年同期比11.5%増)となりました。厚生労働省「2023年人口動態統計月報年計(概数)の概況」によりますと、2023年の年間死亡者数は1,579千人と推計され、高齢化社会を背景に増加傾向にあります。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2023年7月から2024年5月までの取扱件数は微増、売上高は増加し、葬儀単価はやや上昇しました。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、全国的に進む「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化による単価の下落傾向等の対応が求められる状況となっております。

このような状況の中で、当事業では中期経営計画に基づく戦略の実行と葬儀の縮小傾向に対応した新たなサービス展開や新商品販売を実施してまいりました。その結果、原材料費高騰等の影響を受けたものの売上が増加したことにより営業利益は332,613千円(前年同期比3.3%増)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っておりますが、当期間におきましては販売数量の増加や円安、夏場の高温を受けた生育不良等による供給不足が影響し販売単価が上昇したことにより、売上高は2,239,843千円(前年同期比8.5%増)となりました。

東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2024年6月)によると、2023年7月から2024年6月までの切花累計の取扱金額は61,295百万円(前年同期比2.0%減)、数量では751百万本(前年同期比2.8%減)と単価は上昇傾向で推移いたしました。

このような状況の中で、当事業では引き続き生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革へ向けた取り組みを実行しつつ、合わせて販売価格への転嫁や取扱品目の精査、販管費効率化等を実施した結果、原価高騰の影響を受けたものの営業利益は32,842千円(前年同期比2.8%増)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、期中盤まではコロナ禍からの反動増の影響が大きかった前年同期比ではやや低調に推移し、353,380千円(前年同期比5.7%減)となりました。

少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウエディングやレストラン・ウエディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、これまでは大きな市場規模が保持されておりましたが、コロナ禍の影響を受け同市場規模は大幅に縮小し、その後回復基調で推移しております。

このような状況の中、同事業では関西・九州エリアにおける既存顧客・エリアへの深堀による受注増、同エリアでの新規取引先拡大、リテール部門の売上拡大・利益率改善に取り組んでまいりましたが、売上減等の影響により、営業損失は2,629千円(前年同期は18,546千円の利益)となりました。

(その他)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当連結会計年度においては、システム開発事業は堅調に推移し、売上高は525,522千円(前年同期比3.2%増)となりましたが、他の事業において低調に推移したことから営業損失は2,795千円(前年同期は18,448千円の利益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ255,797千円増加し、2,717,887千円となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ257,143千円増加し、2,173,777千円となりました。これは主に借入金の増加によるものであります。

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,346千円減少し、544,109千円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における自己資本比率は、前連結会計年度末の22.2%から20.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ116,477千円増加し、1,071,375千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、営業活動の結果得られた資金は98,460千円(前年同期は105,987千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益89,864千円、及び減価償却費41,980千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、投資活動の結果使用した資金は72,387千円(前年同期は31,450千円の獲得)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出73,068千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において、財務活動の結果獲得した資金は90,404千円(前年同期は70,088千円の獲得)となりました。これは主に、借入金の増加152,167千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、個人消費の回復傾向やインバウンド需要の増加などにより、緩やかな景気回復の動きが見られる一方で、引き続き原材料価格の高騰や物価上昇等により、先行き不透明な状況が継続するものと見込まれます。

葬儀業界におきましては、通夜を行わない一日葬や告別式も行わない火葬式の増加並びに、葬儀規模の縮小や参列者の減少、ブライダル業界におきましては婚礼の実施状況が回復基調にはあるものの、不透明な状況が続くものと考えられる中で、当社グループは、新体制(ホールディングス体制)によるグループ収益力強化と、サステナビリティ経営の推進により、企業価値向上・株価上昇へつなげることを基本方針とし、経営基盤の強化、各事業の

売上拡大、企業価値向上を目指してまいります。

上記施策により、次期におきましては、売上高7,600,000千円（前連結会計年度比8.8%増）、営業利益 110,000千円（前連結会計年度比29.6%増）、経常利益110,000千円（前連結会計年度比10.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益70,000千円（前連結会計年度比145.3%増）を計画しております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の I F R S（国際財務報告基準）の適用動向等を踏まえ、I F R S（国際財務報告基準）の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,898	1,071,375
売掛金	538,807	573,063
商品	37,132	33,935
仕掛品	2,064	3,387
原材料及び貯蔵品	36,478	33,306
その他	60,731	94,497
貸倒引当金	△3,490	△10,337
流動資産合計	1,626,621	1,799,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	656,264	699,167
減価償却累計額	△335,428	△360,664
建物及び構築物（純額）	320,836	338,503
車両運搬具	20,853	39,292
減価償却累計額	△20,255	△14,489
車両運搬具（純額）	598	24,803
工具、器具及び備品	151,199	152,374
減価償却累計額	△140,545	△142,063
工具、器具及び備品（純額）	10,653	10,310
土地	221,424	228,914
建設仮勘定	282	1,278
その他	15,969	15,880
減価償却累計額	△12,385	△13,161
その他（純額）	3,583	2,718
有形固定資産合計	557,378	606,528
無形固定資産		
ソフトウェア	-	26,278
のれん	6,674	5,005
その他	1,135	-
無形固定資産合計	7,809	31,284
投資その他の資産		
差入保証金	53,884	54,607
繰延税金資産	-	12,231
保険積立金	189,700	190,862
破産更生債権等	15,284	12,857
その他	23,354	23,207
貸倒引当金	△11,942	△12,920
投資その他の資産合計	270,280	280,845
固定資産合計	835,469	918,658
資産合計	2,462,090	2,717,887

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	181,462	179,675
短期借入金	350,000	470,000
1年内返済予定の長期借入金	173,729	187,398
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	82,913	78,342
未払法人税等	27,344	54,234
未払費用	119,543	114,185
賞与引当金	851	210
資産除去債務	10,000	10,000
その他	93,982	168,376
流動負債合計	1,059,826	1,282,422
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	683,448	701,946
リース債務	73	43,683
退職給付に係る負債	76,013	67,219
資産除去債務	17,272	18,505
固定負債合計	856,806	891,355
負債合計	1,916,633	2,173,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	144,268	152,407
利益剰余金	416,560	405,282
自己株式	△228,633	△226,874
株主資本合計	545,434	544,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22	54
その他の包括利益累計額合計	22	54
純資産合計	545,456	544,109
負債純資産合計	2,462,090	2,717,887

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,413,063	6,982,903
売上原価	5,472,041	5,988,511
売上総利益	941,022	994,391
販売費及び一般管理費	816,621	909,525
営業利益	124,400	84,865
営業外収益		
受取利息及び配当金	63	52
為替差益	-	5,600
受取賃貸料	3,482	1,465
補助金収入	18,155	10,997
その他	6,358	15,114
営業外収益合計	28,059	33,229
営業外費用		
支払利息	9,209	12,013
為替差損	690	-
その他	7,387	6,462
営業外費用合計	17,287	18,476
経常利益	135,172	99,619
特別利益		
固定資産売却益	-	1,219
投資有価証券売却益	20	-
特別利益合計	20	1,219
特別損失		
固定資産除売却損	127	-
減損損失	2,202	10,871
リース解約損	1,295	102
特別損失合計	3,625	10,973
税金等調整前当期純利益	131,567	89,864
法人税、住民税及び事業税	44,035	73,555
法人税等還付税額	△2,544	-
法人税等調整額	0	△12,231
法人税等合計	41,491	61,323
当期純利益	90,076	28,541
非支配株主に帰属する当期純利益	1,260	-
親会社株主に帰属する当期純利益	88,816	28,541

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益	90,076	28,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	32
その他の包括利益合計	27	32
包括利益	90,103	28,573
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	88,843	28,573
非支配株主に係る包括利益	1,260	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	213,240	142,056	362,285	△228,633	488,948
当期変動額					
剰余金の配当			△34,541		△34,541
親会社株主に帰属する 当期純利益			88,816		88,816
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		2,211			2,211
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	2,211	54,274	-	56,486
当期末残高	213,240	144,268	416,560	△228,633	545,434

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差 額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△4	△4	33,951	522,894
当期変動額				
剰余金の配当				△34,541
親会社株主に帰属する 当期純利益				88,816
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動				2,211
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	27	27	△33,951	△33,924
当期変動額合計	27	27	△33,951	22,561
当期末残高	22	22	-	545,456

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	213,240	144,268	416,560	△228,633	545,434
当期変動額					
剰余金の配当			△36,445		△36,445
親会社株主に帰属する 当期純利益			26,550		26,550
自己株式の処分		8,139		1,759	9,898
その他			△3,373		△3,373
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	0	8,139	△13,268	1,759	△3,370
当期末残高	213,240	152,407	403,291	△226,874	542,064

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差 額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	22	22	545,456
当期変動額			
剰余金の配当			△36,445
親会社株主に帰属する 当期純利益			26,550
自己株式の処分			9,898
その他			△3,373
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	32	32	32
当期変動額合計	32	32	△3,338
当期末残高	54	54	542,118

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	131,567	89,864
減価償却費	36,991	41,980
のれん償却額	1,668	1,668
減損損失	2,202	10,871
リース解約損	1,295	102
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△20	-
補助金収入	△18,155	△10,997
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,798	7,824
賞与引当金の増減額 (△は減少)	153	△641
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	65	△8,793
受取利息及び受取配当金	△63	△52
受取賃貸料	△3,482	△1,465
支払利息	9,209	12,013
固定資産除売却損益 (△は益)	127	△1,219
売上債権の増減額 (△は増加)	△34,646	△31,828
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,075	5,045
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,983	△1,786
その他	15,959	41,180
小計	148,578	153,766
利息及び配当金の受取額	63	52
賃貸料の受取額	3,482	1,465
補助金の受取額	18,233	11,092
利息の支払額	△9,119	△11,864
リース解約に伴う支払額	△1,295	△102
法人税等の支払額	△54,614	△75,478
法人税等の還付額	658	19,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,987	98,460

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	△3,000	△3,394
貸付金の回収による収入	-	4,250
有形及び無形固定資産の取得による支出	△14,566	△73,068
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	1,339
投資有価証券の取得による支出	△10,001	-
保険積立金の積立による支出	△1,161	△1,161
差入保証金の差入による支出	△3,309	△2,732
差入保証金の回収による収入	1,805	2,240
その他	△1,216	140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,450	△72,387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	-	120,000
長期借入れによる収入	100,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△193,758	△217,833
社債の発行による収入	100,000	-
社債の償還による支出	△7,400	△20,000
配当金の支払額	△34,541	△36,445
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△33,000	-
その他	△1,389	△5,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,088	90,404
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,448	116,477
現金及び現金同等物の期首残高	950,449	954,898
現金及び現金同等物の期末残高	954,898	1,071,375

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に冠婚葬祭の生花に係わる事業活動を展開している構成単位を集計し「生花祭壇事業」、「生花卸売事業」、「ブライダル装花事業」の3つを報告セグメントとしております。

各事業の概要は下記のとおりであります。

生花祭壇事業 : 生花祭壇、供花等、葬儀における生花を使用した商品を作成して販売する事業

生花卸売事業 : 自社の祭壇事業で使用する生花の仕入及び葬儀関連会社の生花部や生花小売店に対して、生花を販売する事業

ブライダル装花事業 : 婚礼用の会場装花やブーケ制作をして販売する事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当社及び連結子会社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

生花祭壇事業、ブライダル装花事業

生花祭壇事業、ブライダル装花事業においては、顧客に商品を引き渡すことで履行義務が充足されることから、引渡時点で収益認識を行っております。

生花卸売事業

生花卸売事業においては、顧客に商品を引き渡すことで履行義務が充足されると判断していますが、出荷時から納品時までの期間が通常の間であるため、重要性等に関する代替的な取扱いを適用し、出荷時点で収益を認識しております。

その他の事業

その他の事業においては、葬儀の提供や就労継続支援事業のサービスまたは役務提供の完了により履行義務が充足されることから、サービスまたは役務提供の完了時点で収益を認識しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	3,464,493	2,064,434	374,686	5,903,614	509,449	—	6,413,063
外部顧客への売上高	3,464,493	2,064,434	374,686	5,903,614	509,449	—	6,413,063
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,863	998,483	1,603	1,008,950	51,436	△1,060,387	—
計	3,473,357	3,062,918	376,289	6,912,564	560,886	△1,060,387	6,413,063
セグメント利益 又は損失(△)	321,987	31,954	18,546	372,488	18,448	△266,536	124,400
その他の項目							
減価償却費	7,108	855	3,124	11,088	18,018	7,884	36,991
のれんの償却額	1,964	—	—	1,964	—	△295	1,668
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	8,678	340	1,796	10,816	4,651	△162	15,306

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益の調整額△266,536千円には、セグメント間取引消去56,996千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△323,532千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の開示を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	3,864,156	2,239,843	353,380	6,457,380	525,522	—	6,982,903
外部顧客への売上高	3,864,156	2,239,843	353,380	6,457,380	525,522	—	6,982,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,508	1,038,505	1,781	1,048,794	31,687	△1,080,482	—
計	3,872,664	3,278,348	355,161	7,506,174	557,210	△1,080,482	6,982,903
セグメント利益 又は損失(△)	332,613	32,842	△2,629	362,825	△2,795	△275,164	84,865
その他の項目							
減価償却費	9,804	824	3,044	13,673	18,080	11,680	43,434
のれんの償却額	3,034	—	—	3,034	—	△1,552	1,481
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	11,410	104	—	11,514	4,939	69,461	85,915

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益の調整額△275,164千円には、セグメント間取引消去△116,272千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△158,892千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の開示を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	2,202	—	—	—	—	2,202

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	10,871	—	—	—	—	10,871

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
当期末残高	6,674	—	—	—	—	6,674

のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	その他	全社・消去	合計
当期末残高	5,005	—	—	—	—	5,005

のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりです。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当連結会計年度末において存在する顧客との契約から翌連結会計年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

(1) 契約資産及び契約負債の残高等

当社及び連結子会社の契約資産及び契約負債については、残高に重要性が乏しく、重要な変動も発生していないため、記載を省略しています。また、過去の期間に充足（又は部分的に充足）した履行義務から、当連結会計年度に認識した収益に重要性はありません。

(2) 残存履行義務に配分した取引価格

当社及び連結子会社では、残存履行義務に配分した取引価格については、当初に予想される契約期間が1年を超える重要な契約がないため、実務上の便法を適用し、記載を省略しています。また、顧客との契約から生じる対価の中に、取引価格に含まれていない重要な金額はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	134円70銭	134円10銭
1株当たり当期純利益	21円93銭	7円10銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	88,816	28,541
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	88,816	28,541
期中平均株式数(株)	4,049,448	4,054,887
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。